

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について（K S 2 7）

【演習の目的】

各種事態における日米共同対処及び自衛隊の統合運用について演練・検証し、日米共同統合運用能力の維持・向上を図るために実施します。

【演習の沿革】

日米共同統合演習は昭和60年度から開始され、概ね毎年、実動演習と指揮所演習を交互に実施しています。本年度は実動演習であり、今回で18回目の実施となります。

【演習の実施場所】

日本周辺海空域、自衛隊施設、米軍基地等において、様々な訓練を実施します。

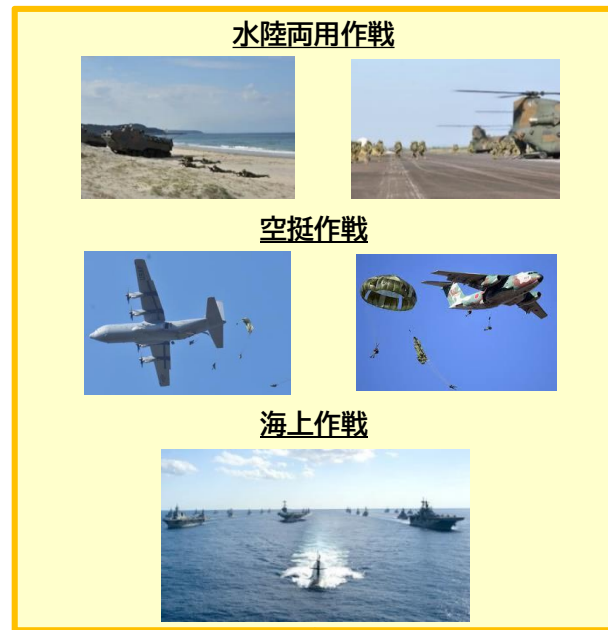
【演習の実施期間】

令和8年10月19日（月）から10月29日（木）までの間（本実施期間の前後 約1週間（基準）で準備期間及び撤収期間を設定）で予定しています。一部には夜間及び土日を含む演習となりますが、皆様の生活に支障がないよう十分に配慮いたします。

【演習の内容】

演習の目的に基づき、我が国防衛のための自衛隊及び米軍の行動を演練します。このため、陸上、海上、航空作戦及び統合輸送等の全てを包含した総合的な演習となります。我が国防衛のための自衛隊の即応性及び日米間の連携能力を向上させることを通じ、皆様の安全・安心確保に資することができます。なお、本演習の一部に同志国軍が参加（オブザーバー含む。）します。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）について



- その他関連する訓練（日本全国各地）**
- 統合後方運用（輸送・補給、衛生等）
 - 陸上作戦
 - 重要施設等防護（基地警備等）
 - サイバー攻撃等対処
 - 宇宙作戦
 - 統合電磁波作戦
 - 統合通信



※ 演習前後の期間において、仏艦艇が補給・休養のためホワイト・ビーチ地区に寄港する予定です。

令和8年度日米共同統合演習（実動演習）の 沖縄県内（先島を除く）における訓練について

本演習において沖縄県内（先島を除く）で実施する訓練は、

- ① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊の機動展開訓練、高射部隊等の機動展開訓練）
- ② 水陸両用作戦（着上陸訓練、統合火力誘導訓練）
- ③ 陸上作戦（共同整備・回収訓練、不発弾処理訓練、航空基盤、対空戦闘訓練）
- ④ 陸上作戦（自由降下訓練）
- ⑤ 航空作戦（目標搜索訓練・実弾射撃訓練等）
- ⑥ 統合通信訓練
- ⑦ 日米共同による宇宙状況の把握等に関する訓練
- ⑧ 統合電磁波作戦訓練
- ⑨ 統合後方運用（統合輸送訓練、物資等輸送訓練、輸送・補給/衛生/その他）
- ⑩ 陸上作戦（指揮機関訓練等）
- ⑪ 重要施設等防護（共同／協同基地等警備訓練、滑走路（被害）復旧訓練、C B R N訓練）
- ⑫ 実証実験（情報収集訓練、無人機情報収集訓練）
- ⑬ 海上作戦（情報収集訓練）及び日米豪哨戒機部隊による部隊間交流

を予定しています。訓練内容は調整中であり、今後調整により変更の可能性があります。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

① 統合防空ミサイル防衛（戦闘機部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の戦闘機部隊等が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に参加し、それぞれの対処要領について演練します。あわせて、航空自衛隊の基地が使用できない事態を想定し、戦闘機等が徳之島・奄美空港及び嘉手納飛行場に一時的に展開する訓練を計画しています。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※事前に準備期間を設定（嘉手納飛行場においては、航空自衛隊の部隊が10月1日から同月31日まで航空自衛隊の戦闘機の展開に必要な資機材準備・撤収を実施します。）

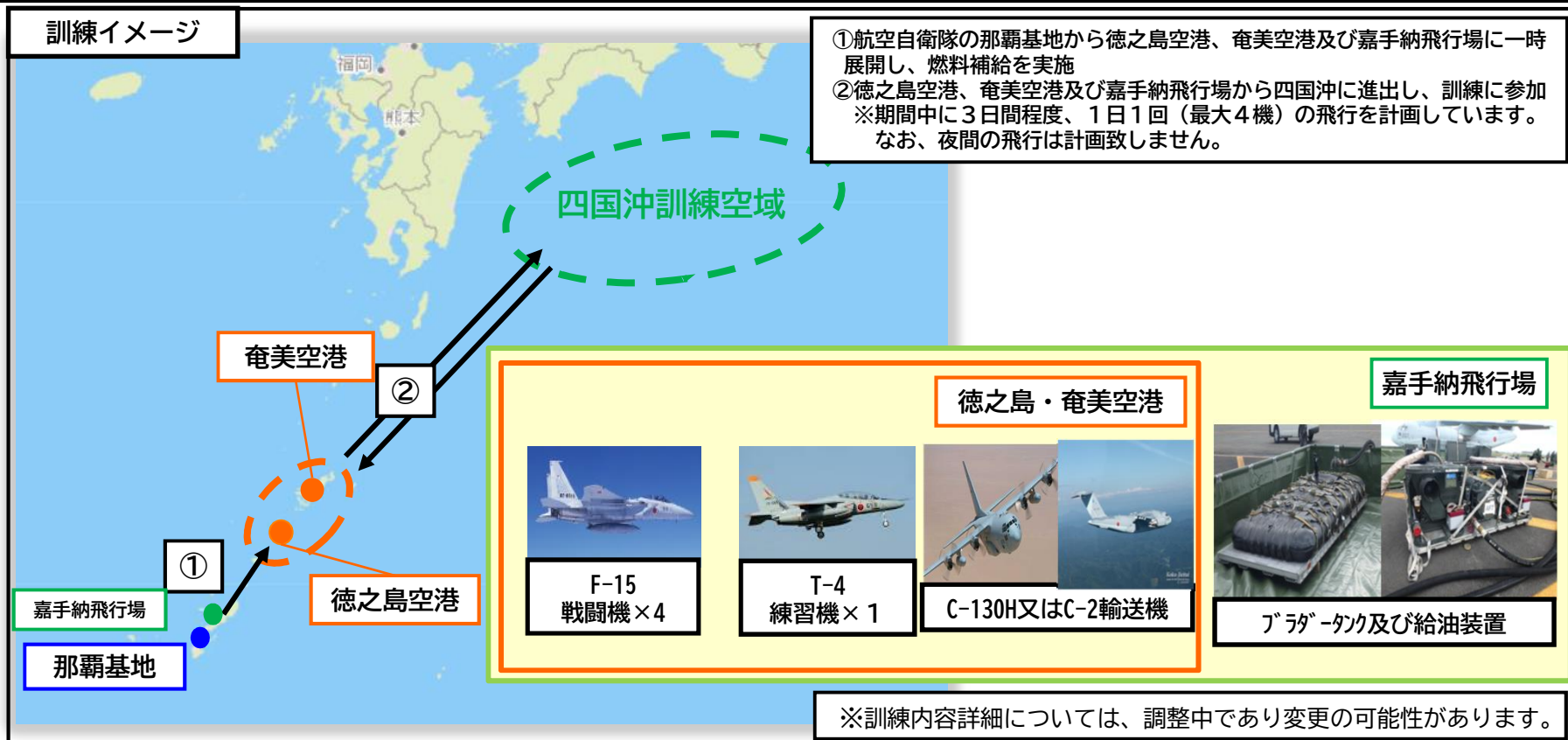
【参加部隊】陸上自衛隊：高射特科部隊 海上自衛隊：イージス艦 航空自衛隊：航空・高射・警戒管制・輸送機各部隊
米軍：米空軍、米海軍等

【奄美空港展開】人員約60名 F-15戦闘機×4機（最大）、T-4練習機×1、車両器材等

【徳之島空港展開】人員約60名 F-15戦闘機×4機（最大）、T-4練習機×1、車両器材等

【嘉手納飛行場展開】人員約75名 F-15戦闘機×4機（最大）、C-130H又はC-2輸送機×1（最大） 車両器材等

訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

① 統合防空ミサイル防衛（高射部隊等の機動展開訓練）

航空自衛隊の高射部隊が、統合防空ミサイル防衛に係る航空自衛隊の任務遂行能力の向上のため、知念分屯基地、久米島分屯基地及び南与座分屯地において機動展開訓練を実施します。

- 【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
- 【参加部隊】 航空自衛隊：南西高射群（第16、18高射隊）、戦術教導隊（第2高射教導隊）
- 【展開地】 知念分屯基地：戦術教導隊（第2高射教導隊）
 久米島分屯基地：南西高射群（第16高射隊）
 南与座分屯地：南西高射群（第18高射隊）
- 【展開人員等】 各展開地毎に人員約60名、車両約25両（PAC-3：レーダー車両（RS）、発射機車両（LS）、射撃管制装置（ECS）、電源車両（EPP）、通信車両（AMG）、クレーン車（MV）等）

訓練の一例（イメージ）



機動展開訓練



※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

② 水陸両用作戦（着上陸訓練）

6

偵察用ボート・水陸両用車（AAV）・エアクッション艇（LCAC）及び陸自回転翼機による海上機動及び着上陸訓練（予行）を金武ブルー・ビーチ及びキャンプ・ハンセン（訓練場区域）で実施します。

【期 間】 令和8年10月20日（火）～10月23（金） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

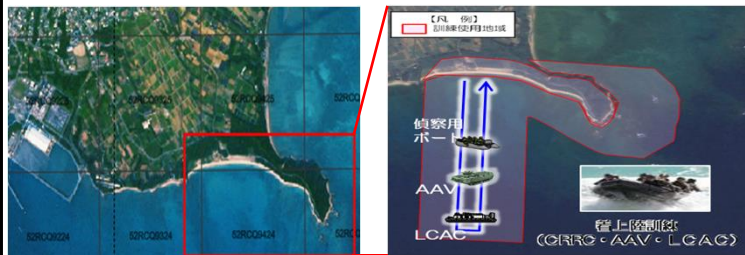
【参加部隊】 陸上自衛隊：水陸機動団ゴムボート（CRRC）×25艇、水陸両用車（AAV）×12両
輸送航空隊（V-22）×5機、西部方面隊回転翼機（AH-64D）×2機
第1ヘリコプター団（CH-47）×2機

海上自衛隊：両機戦群、護衛艦（ヘリコプター搭載護衛艦（DDH）、汎用護衛艦（DD））×2隻、
輸送艦（LST）×2隻、多機能護衛艦（FFM）×1隻、掃海艦×1隻、エアクッション艇×2隻、

【参加人員】 陸上自衛隊：水陸機動団約400名
※昼間及び夜間訓練を実施します。

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



- 着上陸は、夜間を含めて実施します。
- 着上陸は気象・海象の状況により、前後する可能性があります。
- AAVが上陸する際、煙幕を使用する可能性があります。（1回の煙幕で約50～100mの範囲に煙が展開されます。）
- AAVの航行にあたっては、漁網等に十分注意し航行します。（万が一、故障等の不測の事態が発生した場合は、最寄りの砂浜に上陸させていただく可能性があります。）

訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

② 水陸両用作戦（統合火力誘導訓練）

7

陸上自衛隊の回転翼機・航空自衛隊の戦闘機・海上自衛隊の護衛艦・無人機による統合火力誘導訓練を沖大東島射爆撃場で実施します。本訓練は、火力誘導員が各種射撃（実弾）を弾着地の所望の目標に誘導するものです。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月20日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：西部方面隊回転翼機（AH-64D）×2機（輸送艦から発艦）

海上自衛隊：護衛艦（ヘリコプター搭載護衛艦（DDH）、汎用護衛艦（DD）、多機能護衛艦（FFM）計3隻）

無人航空機（V-BAT）×1機（行動半径25km、高度約17000ft、護衛艦から発艦、観測のみ実施）

航空自衛隊：航空総隊航空機（F-2）×4機（築城基地から離陸）

※昼間及び夜間に実施します。

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



射撃は夜間を含めて実施します。

訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

③ 陸上作戦（共同整備・回収訓練）

日米共同により、水陸両用車（AAV）、車両、通信機材等の共同整備をキャンプ瑞慶覧及び牧港補給地区で実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～22日（木）

【参加部隊】 陸上自衛隊：約30名（第15旅団）（車両：約10両）
（各訓練場所毎）米 軍：約30名（第3海兵兵站群）（車両：約5両）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



共同整備



共同回収



共同整備



共同回収

日米相互の車両回収を実施します。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

③ 陸上作戦（不発弾処理訓練）

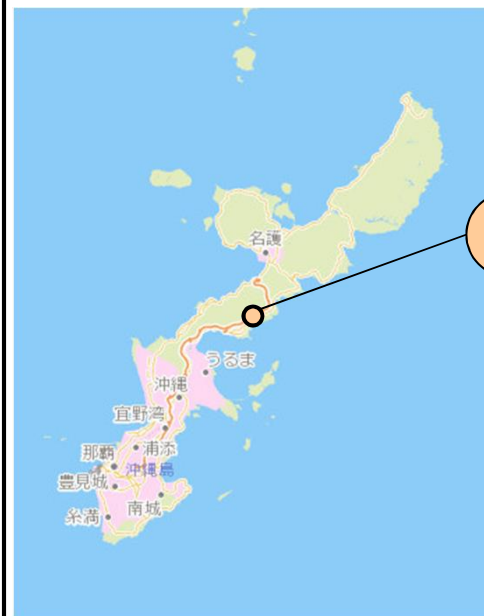
日米共同による不発弾処理訓練をキャンプ・ハンセン（訓練場区域）で実施します。

【期 間】 令和8年10月21日（水）～25日（日） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
※ 実爆による訓練を実施しますが、夜間の爆破は実施しない予定です。

【参加部隊】 陸上自衛隊：約50名（第15旅団）
米 軍：約60名（米海兵隊、米海軍及び米空軍）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



キャンプ・ハンセン
（訓練場区域）

訓練イメージ



不発弾処理訓練

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

③ 陸上作戦（航空基盤）

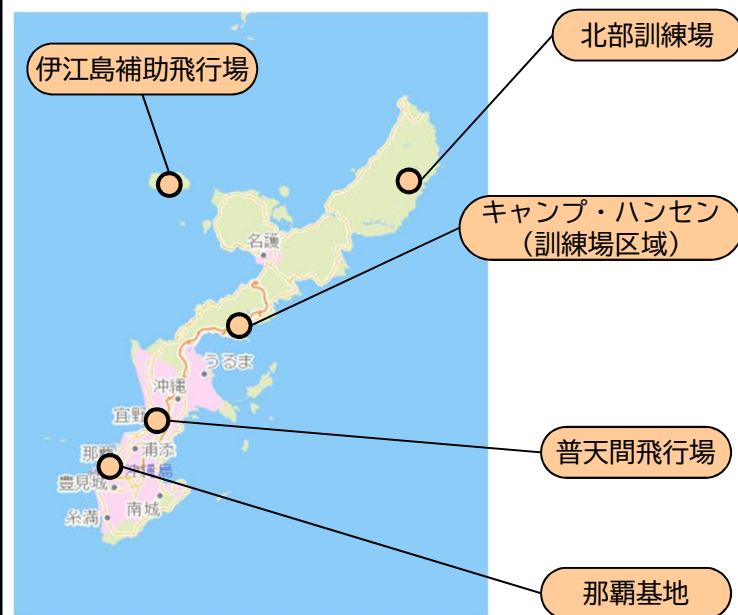
普天間飛行場、キャンプ・ハンセン（訓練場区域）、北部訓練場及び伊江島補助飛行場においては、九州から沖縄の離島等で実施する訓練に参加する陸上自衛隊及び米軍の航空基盤として、航空機の駐機、燃料補給及び整備を実施する計画です。

航空自衛隊那覇基地については、陸上自衛隊の航空基盤として使用する計画です。
訓練期間中、夜間においても飛行を行う可能性があります。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
【参加部隊】 陸上自衛隊：約480名（西部方面航空隊、第1ヘリコプター団、北部方面航空隊、航空学校、AH-64、AH-1S、UH-60、UH-2、CH-47、V-22、OH-1等）
米 軍：約180名（第1海兵航空団、MV-22、AH-1Z、UH-1Y、CH-53等）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



航空機の駐機



航空機への燃料補給・整備

訓練期間中、普天間飛行場においては騒音規制措置を遵守し、その他の施設についても周辺住民への影響が最小限となるよう努めます。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

③ 陸上作戦（対空戦闘訓練）

八重瀬分屯地及び那覇基地においては、陸上自衛隊が各種ミサイル・UAVの対処要領を演練するため、非実射による対空戦闘訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 （那覇基地）陸上自衛隊：約30名（第2高射特科団、第15旅団）
（八重瀬分屯地）陸上自衛隊：約70名（第2高射特科団、第15旅団）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



03式中距離地对空誘導弾

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

④ 陸上作戦（自由降下訓練）

12

陸上自衛隊、米空軍及び豪軍の部隊が航空自衛隊那覇基地及び嘉手納飛行場から飛来し、伊江島補助飛行場水域において航空自衛隊及び米空軍の航空機から自由降下訓練を実施する計画です。その際、通常の航空管制機能が故障した場合を想定し、飛行している航空機が滑走路（伊江島補助飛行場）に着陸できるように現地の隊員が航空機を誘導、統制する訓練を行います。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～10月25日（日）（伊江島） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 自衛隊 陸上総隊（約20名、車両5両程度、CH-47、UH-60、航空自衛隊C-130）
米軍等 米空軍、豪軍（約20名、MC-130、船舶（安全艇）5艇程度）

訓練予定場所



※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑤ 航空作戦（目標搜索訓練・実弾射撃訓練等）

沖縄東海上において、日米共同の救難機、攻撃ヘリコプター、多用途ヘリコプター及び輸送ヘリコプターによる共同編隊飛行・目標搜索訓練を実施する計画です。

併せて、日米共同による攻撃ヘリコプターの実弾射撃訓練等を鳥島射撃場、出砂島射爆場及び沖縄東側海上で実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木）

【参加部隊】

（共同編隊飛行）陸上自衛隊：西方航空隊、第1ヘリコプター団、北部方面航空隊、航空学校

AH-64、AH-1S、UH-60、UH-2、CH-47、V-22、OH-1等

米 軍：第1海兵航空団、AH-1Z、UH-1Y、CH-53、MV-22等

（目標搜索訓練）航空自衛隊：南西航空方面隊、U-125A、UH-60

海上自衛隊：航空集団、US-2

陸上自衛隊：西部方面航空隊、AH-64、UH-60

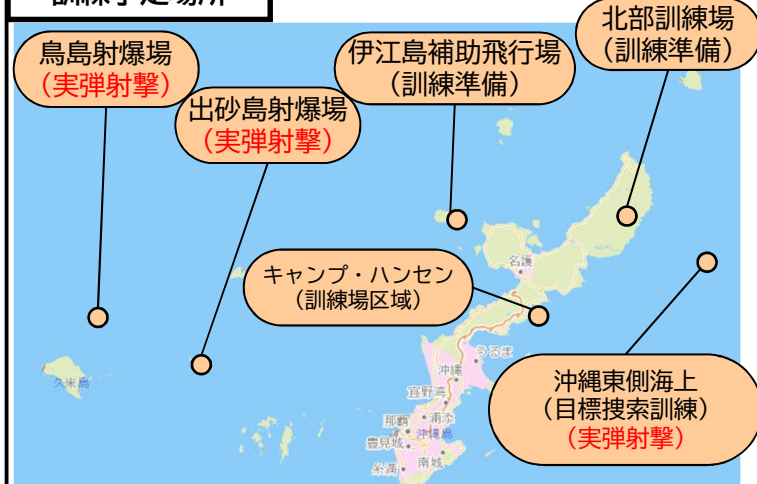
米 軍：米海兵隊、米空軍、UH-1Y、CH-53

（ヘリコプター実弾射撃）陸上自衛隊：西方航空隊、第1ヘリコプター団、北部方面航空隊、航空学校、第15ヘリコプター隊

AH-64、AH-1S、UH-60、UH-2、CH-47、V-22等

米 軍：第1海兵航空団、AH-1Z、UH-1Y、CH-53等

訓練予定場所



※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練イメージ



U-125A



UH-60



US-2



攻撃ヘリコプターの
実弾射撃訓練



陸自AH-64



米AH-1Z

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑥ 統合通信訓練

陸上自衛隊の通信部隊が嘉手納飛行場及び牧港補給地区に展開し、通信回線を構成する訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～27日（火） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：各訓練実施場所ごとに約20名
（西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊、無線搬送端局（中継）装置3号×1）

【実施場所】 嘉手納飛行場、牧港補給地区

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



沖縄への移動については、人員、通信器材、車両等はフェリーを使用

訓練イメージ



無線搬送端局（中継）装置3号

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑥ 統合通信訓練

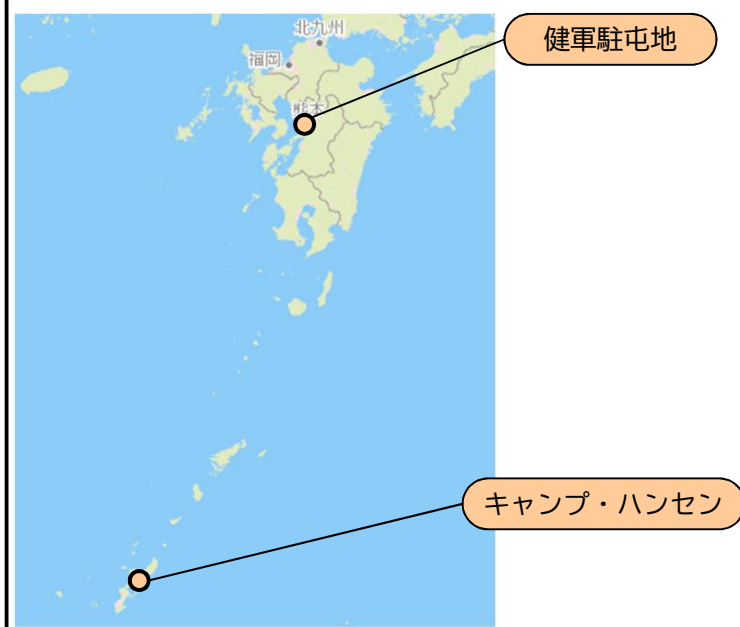
陸上自衛隊及び米軍の通信部隊が健軍駐屯地及びキャンプ・ハンセンに展開し、通信回線を構成する訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】 陸上自衛隊：約10名（西部方面システム通信群、衛星通信アンテナ等）
米 軍：約10名（米海兵隊、衛星通信アンテナ等）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



衛星通信アンテナの設置



無線機の設定

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑦ 日米共同による宇宙状況の把握等に関する訓練

防府北基地から宮古島分屯基地に衛星妨害状況把握装置を展開させ、日米共同で宇宙状況の把握等に関する訓練を実施する計画です。

航空自衛隊は防府北基地及び宮古島分屯基地、米軍は牧港補給地区において活動予定です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～10月29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】航空自衛隊：宇宙作戦団（約30名）

車両9両（アンテナ（車載型）用トラック×3（アンテナ×3）、電源車×2、燃料タンク車×1、自活車×1、人員輸送車×1、バン×1）（車両台数については現時点の計画数）

訓練予定場所



訓練イメージ

訓練で使用する装備品等については、民間船舶等において輸送する計画です。

- 展開する装備品の大きさ、人員規模等
アンテナ口径約5mのアンテナ
自衛官30名程度
- 訓練実施概要
我が国の衛星に対する電磁妨害状況を把握する機能に加え、我が国の衛星に対し電波を照射し、当該衛星に対する電磁妨害を模擬する状況を作出したうえで、その妨害状況を把握するという一連の訓練
- 訓練実施時の安全管理
 - ・ 装備品の展開に伴う移動時及び訓練実施中の安全管理の徹底
 - ・ 使用する電波は、電波法をはじめとする国内法令、電波が人体に与える影響にかかる基準を定めた電波防護指針を順守した設計・製造を行っており、運用段階においても、国内法令等を満たしているかの確認・検査を実施

空自：衛星妨害状況把握装置



※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑧ 統合電磁波作戦訓練

統合電磁波作戦訓練は、四国沖で実施される共同統合対艦戦闘等に連携して行われます。
本訓練に参加するため、陸上自衛隊の電磁戦部隊が、陸上自衛隊知念分屯地において、電波状況の確認等を実施するとともに、海上自衛隊の航空機が四国沖で実施される共同統合対艦戦闘に併せて本訓練に参加します。
なお、本訓練では電波の収集のみであり、電波を使用する予定はありません。

【期 間】 令和8年10月22日（木）～10月29日（木）

【参加部隊】 陸上自衛隊：約15名 車両（NEWSを含む。）×4両

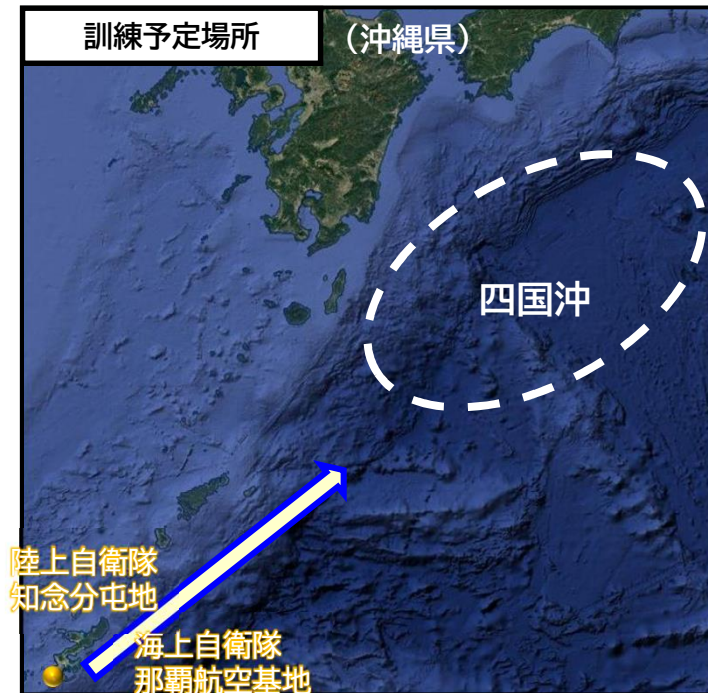
※知念分屯地の部隊のみであり、他基地からの展開はありません。

海上自衛隊：約10名 P-1×1機

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所

（沖縄県）



訓練イメージ



陸上自衛隊 NEWS※

※ NEWS: Network Electric warfare System (ネットワーク電子戦システム)
電波の収集等を実施



海上自衛隊 哨戒機（P-1）

- ① 海上自衛隊那覇航空基地から四国沖周辺へ飛行
- ② 四国沖周辺で訓練を実施し、海上自衛隊那覇航空基地へ帰投

※ 期間中、1日に1回程度の運航を計画しています。

沖縄県で実施を検討している訓練内容

⑨ 統合後方運用（統合輸送訓練）

P F I 船舶で北海道から九州、沖縄まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

【期 間】 令和8年10月3日（土）～11月10日（火）はくおうⅡ

【参加部隊】 陸上自衛隊：北方航空隊、西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊

海上自衛隊：下総サイバー防護隊

航空自衛隊：基地防空教導隊、高射教導群第2教導隊、航空システム通信隊、北部航空施設隊

【使用装備品】 輸送品：部隊車両、部隊人員

その他：P F I 船舶（はくおうⅡ）

【実施地域】 中城湾港、平良港、石垣港（その他、北海道、愛知県、大分県の各港湾を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県で実施を検討している訓練内容

⑨ 統合後方運用（統合輸送訓練）

19

オフショア支援船（OSV）で大分県大分港から鹿児島県（志布志港、名瀬港）を經由し沖縄県那覇市（那覇港湾施設）まで陸上自衛隊の物資をコンテナで輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月14日（水）～10月22日（火）

【参加部隊】陸上自衛隊：中央輸送隊、補給本部

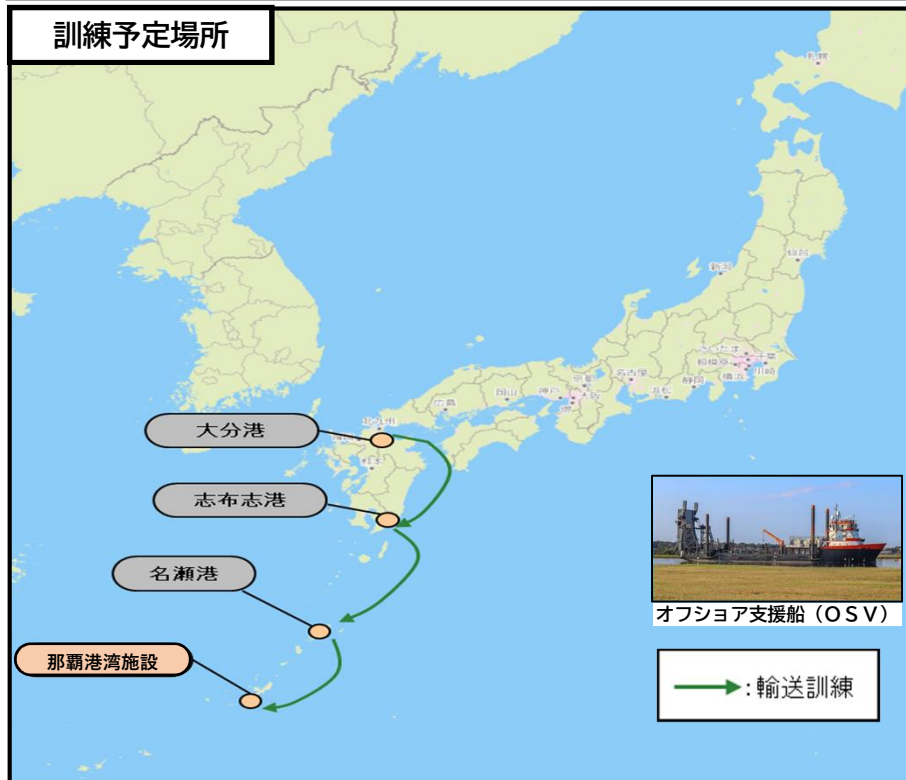
米軍：米陸軍

【使用装備品】20フィートコンテナ×23本（那覇港湾施設での卸下は12本、コンテナの中身：糧食）

その他：オフショア支援船（OSV）1隻

【実施地域】那覇港湾施設（その他、大分県、鹿児島県の各港湾を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ



【オフショア支援船（OSV）】

大分港入港後、20フィートコンテナ×23本を搭載し、大分港を出港後、鹿児島県志布志港へ入港、他の日本側輸送部隊と合同し出港。鹿児島県奄美大島名瀬港へ入港、大分港で搭載したコンテナ（11本）を卸下し、同港を出港し那覇港湾施設へ入港、残りのコンテナ（12本）を卸下します。

沖縄県での卸下後、米軍貨物船は米軍計画で母港の神奈川県に帰投します。

沖縄県で実施を検討している訓練内容

⑨ 統合後方運用（物資等輸送訓練）

P F I 船舶等で鹿児島県から沖縄県まで部隊・装備品を輸送する訓練を実施します。

- 【期 間】 令和8年10月14日（水）～10月18日（日）訓練準備（補給、輸送物資、輸送部隊搭載等）
 令和8年10月19日（月）～10月29日（木）輸送訓練（鹿児島～奄美及び沖縄各地）
- 【参加部隊】 陸上自衛隊：第2・8師団、第2・第3地对艦ミサイル連隊、中央特殊武器防護隊、西部方面システム通信群、西部方面後方支援隊、第2高射特科団、第5・8高射特科群
 航空自衛隊：北部航空施設隊、中部航空施設隊、航空システム通信隊
- 【使用装備品】 輸送品：部隊車両、部隊人員、20フィートコンテナ×43本（コンテナの中身：築城用資材）
 その他：P F I 船舶（ナッチャンNEO、はくおうII）海上輸送群船舶（ようこう、にほんばれ）
 海上自衛隊船舶（護衛艦×3隻：ひゅうが、ふゆづき、せとぎり）
- 【実施地域】 中城湾港、宮古島平良港、石垣島石垣港、与那国島久部良漁港（その他：那覇新港又は浦添埠頭を補給で使用予定）

訓練予定場所



訓練イメージ



- 【PFI船舶：ナッチャンNEO】
 志布志港から中城湾港を経由して宮古島平良港への部隊輸送を実施
 ※船舶会社計画により那覇新港又は浦添埠頭で補給のみ実施
- 【PFI船舶：はくおうII】
 志布志港から中城湾港を経由して石垣島石垣港への部隊輸送を実施
- 【海上輸送群：ようこう】
 志布志港から石垣島石垣港への物資（コンテナ）輸送を実施
- 【海上輸送群：にほんばれ】
 志布志から与那国島久部良漁港へ物資（車両）輸送を実施
- 【海上自衛隊：護衛艦3隻】
 志布志湾で他船と合同、輸送部隊の先導及び護衛に従事、他の輸送船の入港に合わせ先島諸島の各島（宮古島、石垣島、与那国島）港外に沖投錨を実施

沖縄県で実施を検討している訓練内容

⑨ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

チャーター貨物船で九州（大分港）から沖縄県（うるま市米軍天願棧橋）まで陸上自衛隊の物資をコンテナで輸送する訓練を実施します。

【期 間】令和8年10月18日（日）～10月20日（火）

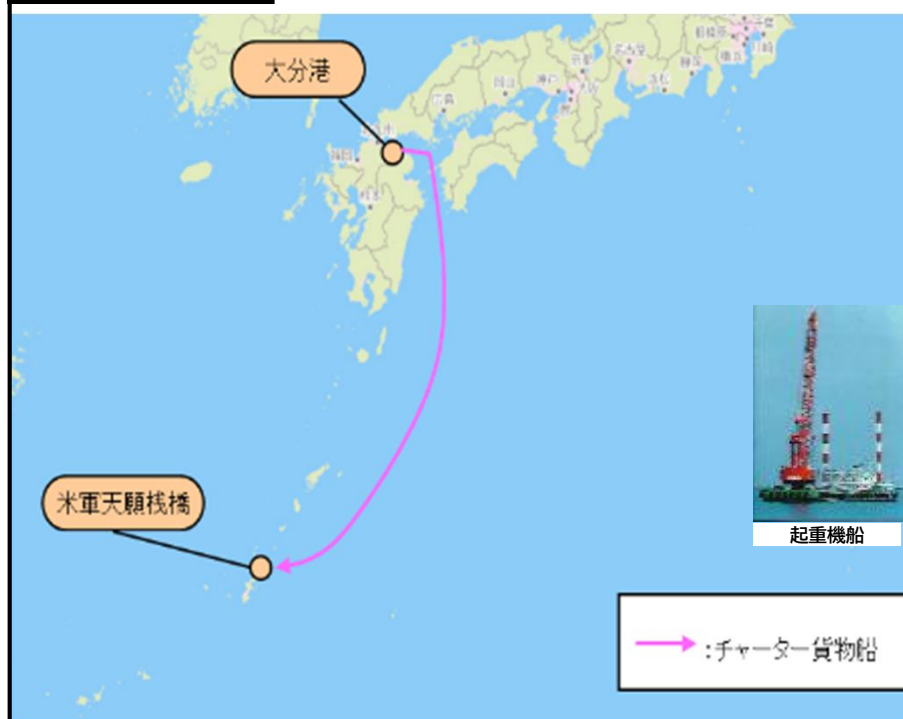
【参加部隊】陸上自衛隊：陸上幕僚監部、西部方面総監部、西部方面後方支援隊、中央輸送隊、補給本部等

【使用装備品】20フィートコンテナ×15本（コンテナの中身：整備用機材）

その他：チャーター貨物船

【実施地域】沖縄県うるま市米軍天願棧橋（その他、大分県を使用）

訓練予定場所



訓練イメージ



【チャーター貨物船】

大分港で20フィートコンテナ×15本を搭載後出港、沖縄県うるま市の米軍天願棧橋に入港、以後搭載してきたコンテナを、起重機船を使用し陸揚げします。

沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑨ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

普天間飛行場又はキャンプ・ハンセン（訓練場区域）において、九州本土の演習場で実施する空中投下訓練のため、航空機に対する物資の積載を実施する計画です。

また、牧港補給地区、キャンプ瑞慶覧、那覇港湾施設、ホワイト・ビーチ、キャンプ・ハンセン（訓練場区域）及び天願栈橋において、日米共同による兵站訓練（車両による物資輸送・展開訓練）を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

【参加部隊】陸上自衛隊：約240名（西部方面総監部、第15旅団、西部方面航空隊、西部方面後方支援隊）

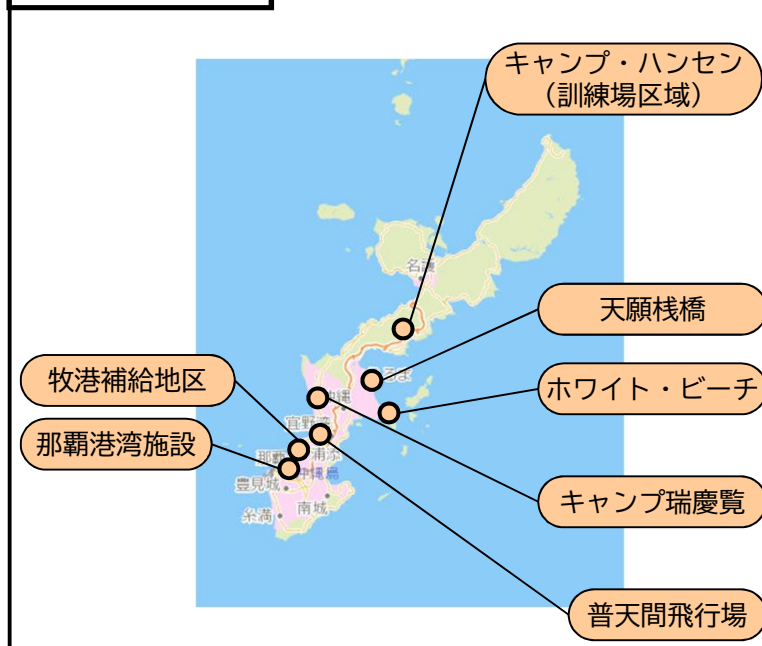
UH-60、CH-47等

米 軍：約90名第1海兵航空団、（第3海兵兵站群）

MV-22等

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

⑨ 統合後方運用（輸送・補給/衛生/その他）

牧港補給地区、キャンプ瑞慶覧、ホワイト・ビーチ、那覇港湾施設、普天間飛行場、嘉手納飛行場、北部訓練場、キャンプ・ハンセン（訓練場区域）、南那覇駐屯地、航空自衛隊那覇基地において、日米共同の衛生訓練を実施する計画です。

【期 間】令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定

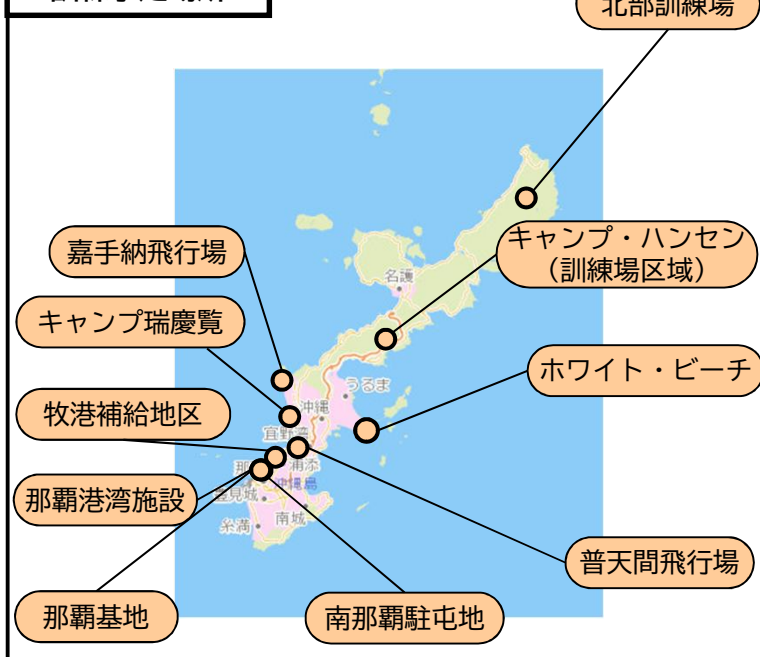
【参加部隊】陸上自衛隊：約400名（西部方面総監部、第15旅団西部方面衛生隊、自衛隊那覇病院等）

米 軍：約100名（海兵隊、米海軍、米空軍、MV-22、C-17、C-130）

独 軍：約20名（A400）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



訓練イメージ



沖縄県内で実施を検討している訓練内容

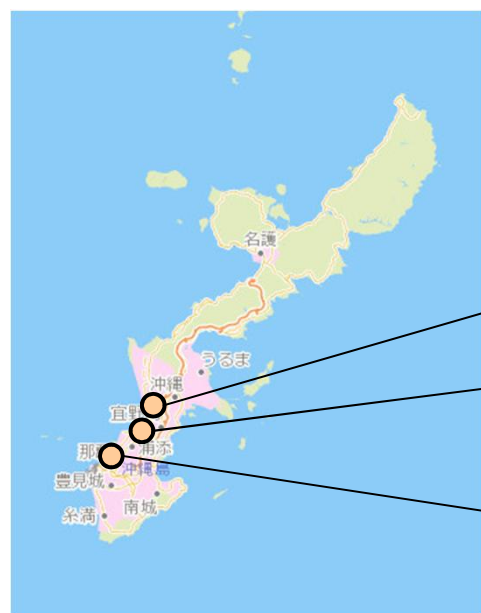
⑩ 陸上作戦（指揮機関訓練等）

キャンプ瑞慶覧、牧港補給地区及び普天間飛行場において、日米共同の調整所を開設した指揮機関訓練を実施する計画です。

【期 間】 令和8年10月19日（月）～29日（木） ※前後約1週間程度の準備・撤収期間を設定
 【参加部隊】 陸上自衛隊：約120名（西部方面総監部、第15旅団、西部方面後方支援隊、西部方面航空隊、西部方面衛生隊、西部方面システム通信群等）
 米 軍：約90名（第3海兵兵站群、海兵隊太平洋基地司令部等）

※訓練内容詳細については、調整中であり変更の可能性があります。

訓練予定場所



キャンプ瑞慶覧

普天間飛行場

牧港補給地区

訓練イメージ



指揮機関訓練



指揮機関訓練